

ドイツ語（初級 B） 第 17 回 形容詞

* 授業の回数は通年で表記する。

範囲：教科書第 10 課 A（S. 39-41）

《今回の基本例文》

51. Wir trinken gern japanischen grünen Tee. (CD56-1)

私たちは日本の緑茶（を飲むの）が好きだ。

〔形容詞の付加語的用法（強変化）〕

52. Die ganze Welt bedauert den plötzlichen Tod dieses großen Künstlers. (CD54-3)

世界中がこの偉大な芸術家の突然の死を悼んでいる。

〔形容詞の付加語的用法（弱変化）〕

53. Dort steht ein junger Mann mit seiner hübschen Frau. (CD55-1)

若い男が一人、かわいらしい奥さんと一緒にあそこに立っている。

〔形容詞の付加語的用法（混合変化）〕

54. Er wohnt seit einem Jahr bei seinen Verwandten. (CD57-3)

彼は一年前から親戚の家に住んでいる。

〔形容詞の名詞化〕

I 形容詞の格変化

A. 形容詞 (S. 39)

■ 形容詞の 3 つの用法

述語的用法： SVC の C（すでに学習）

付加語的用法： 名詞を修飾 → 性数格変化あり（本講で学習）

副詞的用法： そのまま副詞として動詞を修飾（すでに学習）

◇ 教科書にもあるように、ドイツ語の形容詞には 3 つの用法がある。

- ・ **述語的用法**。特定の自動詞の述語（**述語内容語**）となる。英語の補語（SVC 構文の C）に対応する。すでに学習した。（⇒授業第 4 回配付資料 S. 7）

* 英語同様、述語内容語をとることができる自動詞は限られている。既出では sein、werden、bleiben、heißen など。

- ・ **付加語的用法**。名詞の前に置いてその名詞を修飾する。用法としては英語と同じだが、名詞の性・数・格に応じて変化する。この項で学習する。

* そもそもドイツ語では、名詞にくっついて修飾する要素は、ほぼ性・数・格に応じた変化をする。定冠詞・不定冠詞（教科書第 2 課 A）、定冠詞型（dieser 型）・不定冠詞型（mein 型）（教科書第 4 課 A）など。

- ・ **副詞的用法**。形容詞をそのまま副詞として使い、動詞を修飾する。英語とは異なる。すでに学習した。

* 英語の場合、beautiful / beautifully、good / well などのように形容詞と副詞が別になっているが、ドイツ語ではそうではなく、形容詞がそのまま副詞になる。

1) Sie ist <u>schön</u> .
彼女は美しい。(述語的用法)
* Sie = schön の関係になる。
2) Sie ist ein <u>schönes</u> Mädchen.
彼女は美しい娘である。(付加語的用法)
* schön は名詞 Mädchen を修飾している。
3) Sie singt <u>schön</u> .
彼女は美しく歌う。(副詞的用法)
* schön は動詞 singen を修飾している（動詞の様態を表している）。1)および 2)との違いに注意。

1 付加語としての形態と用法

◇ 形容詞の付加語的用法では、修飾する名詞に合わせた格変化が行われるが、その格変化は、名詞についている冠詞・冠詞型に応じて 3 種類が存在する。

c) 名詞が 無冠詞 → 強変化
a) 名詞に 定冠詞・定冠詞型 がつく → 弱変化
b) 名詞に 不定冠詞・不定冠詞型 がつく → 混合変化

・ c)の**強変化**には、定冠詞とほぼ同じ語尾が現れる。ただし、男性および中性の 2 格は-en、中性の 1 格と 4 格は-es となることに注意。

	男性	女性	中性	複数
1 格	-er	-e	-es	-e
2 格	-en	-er	-en	-er
3 格	-em	-er	-em	-en
4 格	-en	-e	-es	-e

・ a)の**弱変化**には、-e と-en の語尾だけが現れる。単数形の場合、1 格はすべて-e、2 格と 3 格はすべて-en、4 格は男性のみ-en で残りは-e。複数形はすべて-en。

	男性	女性	中性	複数
1 格	-e	-e	-e	-en
2 格	-en	-en	-en	-en
3 格	-en	-en	-en	-en
4 格	-en	-e	-e	-en

・ b)の**混合変化**には、男性単数 1 格、中性単数 1 格、中性単数 4 格のみ強変化と同じ、あとは弱変化と同じ語尾が現れる。

	男性	女性	中性	複数
1 格	-er	-e	-es	-en
2 格	-en	-en	-en	-en
3 格	-en	-en	-en	-en
4 格	-en	-e	-es	-en

◇ 形容詞の付加語的用法を学習したことで、本学のドイツ語名を書けるようになった。

Naturwissenschaftliche Universität Tokio

東京理科大学（naturwissenschaftlich adj. 自然科学の）

Ich studiere an der Naturwissenschaftlichen Universität Tokio.

私は東京理科大学に在学しています。

■ 形容詞の変化表の覚え方

◇ 形容詞の変化表は、闇雲に丸暗記する必要はない。形容詞の変化表の大本は定冠詞の変化表であり、これをベースに覚えていけばよい。

	男性	女性	中性	複数
1 格	der	die	das	die
2 格	des	der	des	der
3 格	dem	der	dem	den
4 格	den	die	das	die

これら定冠詞の語尾は、次に来る名詞の性数格に対する「マーキング機能」を持つ。語尾だけ抜き出すと、

	男性	女性	中性	複数
1 格	-er	-e	-as	-e
2 格	-es	-er	-es	-er
3 格	-em	-er	-em	-en
4 格	-en	-e	-as	-e

* die のところは -e だけ抜き出すのがポイント（-ie ではなく）。不定冠詞 ein、dieser 型、mein 型などのときと同じ。

◇ 無冠詞の名詞にかかる形容詞は、定冠詞などに代わってマーキング機能を果たさなければならない。このため、基本的に定冠詞と同じ語尾（強語尾）がつくことになる。これが**強変化**である。

* 以下の各表では、名詞自体の変化も...によって表す。

	男性	女性	中性	複数
1 格	-er ...	-e ...	-es ...	-e ...
2 格	-en(e)s	-er ...	-en(e)s	-er ...
3 格	-em ...	-er ...	-em ...	-enn
4 格	-en ...	-e ...	-es ...	-e ...

定冠詞と異なる（表の網掛部分）のは以下の 2 点。ここだけ覚えればよい。

・ 男性 2 格、中性 2 格：-es ではなく -en。

← これらの場合、名詞自体に -(e)s がついており、そちらがマーキング機能を果たしているため。

・ 中性 1 格、中性 4 格：-as ではなく -es。

* 定冠詞型（dieser 型）において、中性 1 格と中性 4 格が dieses となる（*diesas ではなく）のと同じ。

◇ 一方、定冠詞（型）つきの名詞にかかる形容詞は、すでに定冠詞（型）がマーキング機能を果たしてくれるため、-e や -en のような省エネ的な語尾（弱語尾）でよい。これが**弱変化**である。

	男性	女性	中性	複数
1 格	der -e ...	die -e ...	das -e ...	die -en ...
2 格	des -en ...(e)s	der -en ...	des -en ...(e)s	der -en ...
3 格	dem -en ...	der -en ...	dem -en ...	den -en ...n
4 格	den -en ...	die -e ...	das -e ...	die -en ...

弱変化の語尾は -e か -en だが、ほぼ -en なので、-e の部分（表の網掛部分）を覚えること。

* 定冠詞と同じかたちが現れる変化を強変化、-en のかたちが現れる変化を弱変化、この二者が混ざった変化を混合変化と呼んでいる。男性弱変化名詞を学習した際に説明した通り。（⇒授業第 6 回配付資料 S.3）

◇ 不定冠詞（型）つきの名詞にかかる形容詞は、不定冠詞（型）がマーキング機能を果たしている限り弱語尾でよいが、不定冠詞（型）が無語尾であるところでは、自分でマーキング機能を果たさなければならず、そこだけ強変化の語尾（強語尾）がつく。これが**混合変化**である。

	男性	女性	中性	複数
1 格	ein○ -er ...	eine -e ...	ein○ -es ...	meine -en ...
2 格	eines -en ...(e)s	einer -en ...	eines -en ...(e)s	meiner -en ...
3 格	einem -en ...	einer -en ...	einem -en ...	meinen -en ...n
4 格	einen -en ...	eine -e ...	ein○ -es ...	meine -en ...

* 表では、不定冠詞が無語尾であるところには、便宜的に○を記した。

** 複数形の不定冠詞型は mein で例示してある。

つまり、不定冠詞（型）が無語尾であるところ（男性 1 格、中性 1 格、中性 4 格＝表の網掛部分）を覚えればよく、それ以外は弱変化と同じと考えてよい。

■ 練習問題の補足

Übung 1 (S. 39)

5. 「高い」という意味の形容詞 hoch（英 *high*）は、付加語的用法の場合のみ c が落ちて hoh-として使われ、弱変化男性単数の場合、der hohe ..., des hohen ...(e)s, dem hohen ..., den hohen ...となる。の場合、中央の h は発音しない。もちろん、述語的用法や副詞的用法ではそのまま hoch でよい。

Übung 2

2. et³. / zu et³. passen 〈3 格〉に似合っている

Übung 5 (S. 40-41)

2. wünschen は他動詞で「〈3 格〉に〈4 格〉を望む」の意味。

II 形容詞の名詞化

2 形容詞の名詞化 (S. 41)

◇ ドイツ語では、性と数によって、**形容詞の名詞化**の意味が異ってくる。

* 「形容詞の名詞化」は英語にも存在する。英語の場合、*the*+形容詞は、「～な人々（複数）」、「～なもの（単数）」を表す。*the poor* は「貧しい人々（複数）」、*the bad* は「悪いもの＝欠点（単数）」。

形容詞の名詞化の

- ・ 男性形：「～な男」
- ・ 女性形：「～な女」
- ・ 複数形：「～な人々」
- ・ 中性形：「～なもの、～なこと」

◇ 形容詞の名詞化にあたっては、

形容詞の語頭 = 大文字

形容詞の付加語用法の変化形を踏襲する

- ・ 無冠詞：強変化
- ・ 定冠詞（型）つき：弱変化
- ・ 不定冠詞（型）つき：混合変化

◇ *krank* (*adj.* 病気の) から「病人、患者」をつくる場合、

・ 定冠詞つき：「その病気の男／女／人々」 → 弱変化

	男性形	女性形	複数形
1 格	der Kranke	die Kranke	die Kranken
2 格	des Kranken	der Kranken	der Kranken
3 格	dem Kranken	der Kranken	den Kranken
4 格	den Kranken	die Kranke	die Kranken

・ 不定冠詞つき（単数）／無冠詞（複数）：「ある病気の男／女／人々」 → 混合変化／強変化

	男性形	女性形		複数形
1 格	ein Kranker	eine Kranke	1 格	Kranke
2 格	eines Kranken	einer Kranken	2 格	Kranker
3 格	einem Kranken	einer Kranken	3 格	Kranken
4 格	einen Kranken	eine Kranke	4 格	Kranke

* これらは医師の業界用語「クランケ」の語源。

◇ 形容詞の名詞化の中性形は、

・ 一般的には「～なもの」の意味。*gut* から「よいもの、善」をつくる場合（定冠詞つき＝弱変化の例）、

	中性形
1 格	das Gute
2 格	des Guten
3 格	dem Guten
4 格	das Gute

・etwas（英 *something*）や nichts（英 *nothing*）などの不定代名詞とともに使われることがある。**etwas＋形容詞の名詞化、nichts＋形容詞の名詞化**については、いずれも形容詞の前に冠詞がないと考え、その形容詞は中性の強変化を行う。etwas＋形容詞の名詞化（中性）は「なにか～なもの」、nichts＋形容詞の名詞化（中性）は「いかなる～なものも...ではない」の意味になる。

* それぞれ英語における *something beautiful* / *nothing beautiful* と同じ。

	中性形			
1 格	etwas	Schönes	nichts	Schönes
2 格	(etwas	Schönen)	(nichts	Schönen)
3 格	etwas	Schönem	nichts	Schönem
4 格	etwas	Schönes	nichts	Schönes

◇ 名詞のなかには、形容詞の名詞化としてのみ存在するものがある。

(der) Bekannte 知人（の男）

(der) Verwandte 親戚（の男）

* 女性形や複数形にもなりうるし（die Bekannte は「知人の女」）、不定冠詞つき（混合変化）や無冠詞（強変化）もありうる。

こうした名詞を辞書で調べる際は、男性単数 1 格の弱変化形をそのまま引けばよい。

・「Bekannte」を調べる → 「Bekannte 男 女 《形容詞変化》 知人、知り合い」のように記載。

* 「男 女」は男性形や女性形になりうるという意味。また、《形容詞変化》などの注が書かれているのが普通。

** この点、各自の辞書で要確認のこと。

Der Kranke muss im Bett liegen.（弱変化・男性・1 格）

その病人は寝ていなければならない。

* im Bett liegen で「寝ている」。im は in + dem の融合形。（⇒教科書 S. 23）

Der Arzt hilft einer Kranken.（混合変化・女性・3 格）

その医師はある病人（女性）を助ける。

* helfen は「3 格目的語をとる動詞」。何度も学習した。

Kennen Sie die kleine Blonde dort?（弱変化・女性・4 格）

あの小さなブロンドの女の子を知っていますか？

* kleine は一般の付加語用法の形容詞（やはり弱変化）、Blonde が形容詞 blond の名詞化。

Unterstützt die Armen!（弱変化・複数・4 格）

（お前たちは）貧しき者たちを援助せよ。

* unterstützen（非分離動詞）は「〈4 格〉を援助する」の意味の他動詞。ここでは ihr に対する命令形。

Hast du heute Abend etwas Besonderes vor?（etwas＋強変化・中性・4 格）

君は今晚なにか特別な計画があるかい？（＝なにか特別なものを計画しているかい？）

* vorhaben は分離動詞で、「〈4 格〉を計画する」を意味する他動詞。

連絡先など

教員のメールアドレス：tokan@nifty.com 授業のウェブサイト（進捗表示、配付資料あり）：<http://hhasegawa.la.coocan.jp/lecture/>